

2021 環境経営レポート



対象期間：2021年1月1日～12月31日

発行日：2022年6月30日

 **松山株式会社**



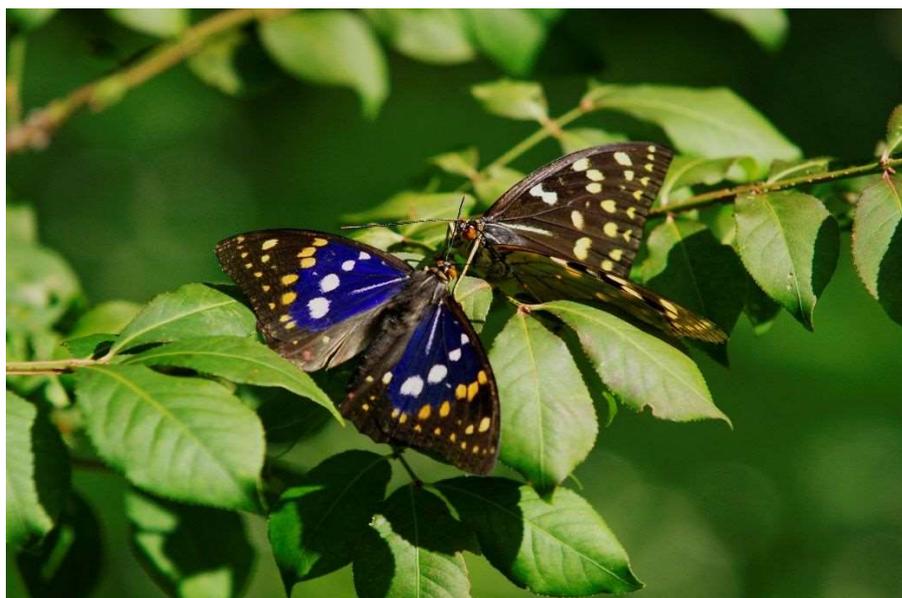
目次

(1) 理念	p.3
(2) 組織の概要	p.4
(3) 対象範囲	p.4
(4) EA21 推進体制	p.5
(5) 環境経営方針	p.6～7
(6) 2021 年度 環境経営目標	p.8
(7) 2021 年度 環境経営計画	p.8
(8) 2021 年度 環境経営活動の内容と取組結果の評価(本社工場)	p.9～13
(9) 2021 年度 環境負荷実績	p.14～16
(10) 2022 年度 環境経営目標	p.17
(11) 2022 年度 環境経営計画	p.18
(12) 2021 年度 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	p.18
(13) 2021 年度 環境活動報告(営業所、出張所、物流センター)	p.19～28
(14) 代表者による全体の評価と見直し・指示	p.29

(1) 理 念

21 世紀は環境と食の世紀といわれています。農業は環境と食を守る旗手です。農業を通して、美しい郷土、きれいな日本、そして地球環境保全に努め、循環型社会形成のために貢献することが松山株式会社の使命です。

国蝶「オオムラサキ」の生息している、美しい自然を保護し、地域、長野県、日本、地球規模で求められている環境対策に貢献します。



(2) 組織の概要

(2021 年末時点)

① 事業者名および代表者名

松山株式会社 代表取締役社長 松山 信久

② 所在地

本 社 長野県上田市塩川 5155
物流センター 長野県上田市塩川 2949
北海道営業所 北海道岩見沢市栗沢町由良 194-5
旭川出張所 北海道旭川市永山北 1 条 8 丁目 32
帯広出張所 北海道河西郡芽室町東芽室北 1 線 18 番 10
東北営業所 宮城県大崎市古川清水 3 丁目石田 24 番 11
関東営業所 栃木県栃木市大平町横堀みずほ 5-3
長野営業所 長野県上田市塩川 2949
岡山営業所 岡山県津山市綾部 1764-2
九州営業所 熊本県宇土市松山町 1134-10
南九州出張所 宮崎県都城市甲斐元町 3389-1

③ 事業の概要

農業機械の開発、設計、製造、販売

④ 事業の規模

売上高 218 億円
全従業員数 328 名（認証対象）
本社工場延べ床面積 20,874 m²
北海道営業所 1,797 m²、旭川出張所 969 m²、帯広出張所 511 m²、
東北営業所 4,433 m²、関東営業所 4,396 m²、長野営業所・物流センター 9,620 m²、
岡山営業所 600 m²、九州営業所 4,156 m²、南九州出張所 897 m²

⑤ 環境保全関係の責任者・担当者連絡先

責任者 総務部 大池 賢治
担当者 総務部総務課 小林 晋也
山崎 裕介

連絡先 TEL 0268-42-7500

FAX 0268-42-7520

(3) 対象範囲

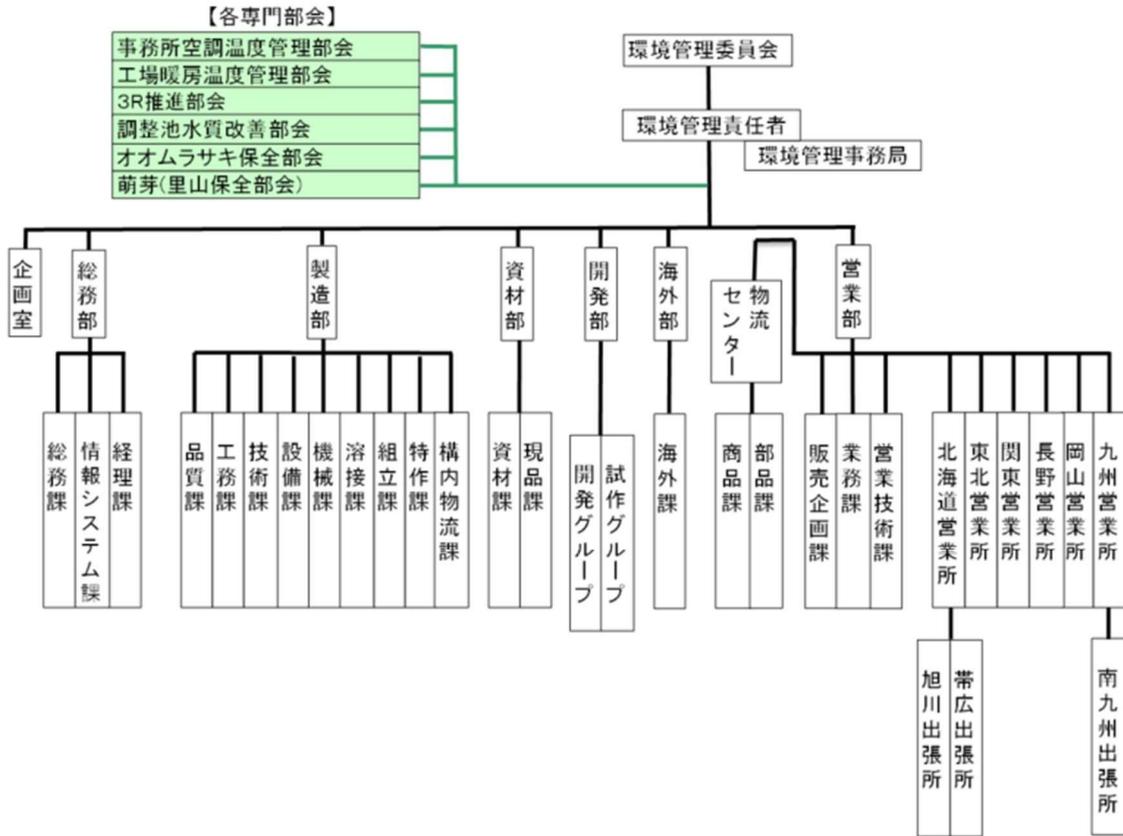
① 対象組織 本社工場、全営業所、全出張所、物流センター（全組織）

② レポートの対象期間 2021 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日

③ 発行日：2022 年 6 月 30 日

(4) EA21 推進体制

EA21環境活動組織図



環境管理委員会

委員長	代表取締役社長 松山 信久
副委員長	取締役総務部長 大池 賢治

事務局	総務副部長 清水 信男
	総務課長 中澤 明義
	総務課主任 小林 晋也
	総務課 山崎 裕介

総務部	取締役総務部長 大池 賢治
資材部	取締役資材部長 田中 計宏
海外部	取締役海外部長 太田 誠
営業部	取締役営業部長 上野 功
開発部	取締役開発部長 池田 俊朗
製造部	取締役製造部長 徳武 雅彦

環境管理委員会専門部会

部会名	事務所空調温度管理部会
部会長	総務課長 中澤 明義
部会名	工場暖房温度管理部会
部会長	溶接課長 池野 恒男
部会名	3R 推進部会
部会長	現品課課長補佐 瀧澤 政和

部会名	調整池水質改善部会
部会長	設備課長兼技術課長 北村 正彦
部会名	オオムラサキ保全部会
部会長	組立課 山浦 淳一
部会名	萌芽(里山保全部会)
部会長	構内物流課係長 竹内 健二

(5) 環境経営方針

■環境保全型農業を支援する機械類の開発をします。

資源の有効活用・環境負荷の軽減・低燃費・減肥料栽培体系など、環境にやさしい農業を支援する作業機を開発します。

■地球温暖化を防ぐための施策をおこないます。

電気、ガス、ガソリン、軽油、灯油の使用量を削減し、二酸化炭素の排出を抑制し、省エネルギーに努めます。

太陽光発電システムで発電した電力を最大限自家消費し、電力の購入を削減します。

製品梱包を小さくし、輸送に関わる環境負荷を軽減します。

雨水の活用を図り、上水道の使用量を削減します。

■リサイクルや使用抑制を図り、限りある資源を大切に使います。

紙の分別をおこない、再資源化を図ります。

再生紙の使用を徹底します。

紙の使用量を削減します。

鉄枠を再利用し、木材の梱包を削減します。

■調整池の水質を浄化し富栄養化を防ぎます。

■グリーン購入を進めます。

■広大な社有林の管理に努めます…自然にやさしく接します。

除草剤や農薬の使用場所を限定し、社有林内では使いません。

間伐・植樹を計画的におこない、遊歩道を整備し里山を地域に開放します。

松くい虫の被害を環境にやさしい施策「樹幹注入」で防ぎ、後世に赤松林を残します。

「オオムラサキ」の保護をおこない、観察会等を実施し地域に公開します。

■法を守ります。

環境関連法規や地域条例を遵守し、地域社会の環境保全に寄与します。

■化学物質を適正に管理します。

■持続可能な社会を実現するため、SDGsの目標達成を目指します。

松山株式会社は、以上の方針に基づいて社員全員で活動します。

2022年1月1日改訂

2004年11月15日制定

松山株式会社

代表取締役社長 松山 信久

改訂履歴

- 2007年1月1日 ■環境保全型農業を支援する機械類の開発をします。・・・追加
■調整池の水質を浄化し富栄養化を防ぎます。・・・追加
- 2008年1月1日 ■グリーン購入を進めます。・・・追加
- 2011年1月1日 ■化学物質を適正に管理します。・・・追加
- 2012年1月1日 製品梱包を小さくし、輸送に関わる環境負荷を軽減します。・・・追加
- 2013年1月1日 制定者の社名から“本社工場”を削除した。
- 2015年1月1日 “古着・古毛布と集め、再利用します。”を削除した。
- 2018年1月1日 エコアクション 21 ガイドライン改訂に伴い、名称を変更。
- 2019年1月1日 環境経営方針の項目を実績と統一した。
- 2020年1月1日 鉄枠を再利用し、木材の梱包を削減します。・・・追加
- 2021年1月1日 ■持続可能な社会を実現するため、SDGs の目標達成を目指します。・・・追加
- 2022年1月1日 太陽光発電システムで発電した電力を最大限自家消費し、電力の購入を削減します。・・・追加

(6) 2021 年度 環境経営目標

2021 年度以降の目標値（前年比） 年間(1～12 月)

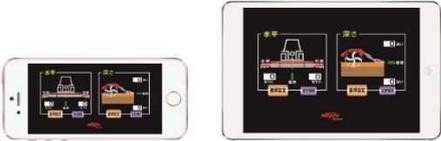
	2021 年度	2022 年度	2023 年度
電力使用量 (kwh/年)	維持	維持	維持
ガス使用量 (t/年)	維持	維持	維持
ガソリン使用量(l/年)	2%削減	2%削減	2%削減
軽油使用量(l/年)	2%削減	2%削減	2%削減
灯油使用量 (kl/年)	2%削減	2%削減	2%削減
燃やすしかなないゴミの焼却量 (kg/年)	維持	維持	維持
鉄粹回収量(t)	維持	維持	維持
上水道使用量 (t/年)	維持	維持	維持
化学物質使用量 エチルベンゼン (kg/年)	維持	維持	維持
キシレン (kg/年)	維持	維持	維持
トルエン (kg/年)	維持	維持	維持
グリーン購入	グリーン購入推進		
環境保全型農業の支援	環境保全型農業を支援する機械の研究、設計		

(7) 2021 年度 環境経営計画

2021 年度は以下の項目に取り組みました。

項 目	取 組 内 容
電力使用量	省エネパトロールの実施、節電対応、太陽光発電の利用、電灯の LED 化
ガス使用量	事務所温度管理、ウォームビズ・クールビズの実施、熱中症指数計の導入
ガソリン・軽油の使用量	安全運転の推進、WEB 会議システムの活用
灯油使用量	工場温度管理、温度管理表の適時改善
燃やすしかなないゴミの焼却量	紙分別の徹底、3R の推進
鉄粹回収量	積極的に回収を行う
上水道使用量	雨水利用、漏水のチェック
化学物質の使用量	塗料の加温化、適正管理
グリーン購入	購入推進
環境保全型農業の支援	環境保全型農業を支援する機械の研究、設計

(8) 2021年環境経営活動の内容と取組結果の評価(本社工場)

推進項目	主要な活動内容	取組み結果	担当部門	
環境保全型農業の支援	1. 作業時に排出されるCO ₂ を削減する(SDGs重点取組項目)	<p>スマートフォン用アプリ「Niplo Vision」により、代かき作業時のウイングハローの傾きおよび作業深さがトラクタの運転席から確認できるようになった。それによって作業機の調整時間の短縮および作業中のやり直しが減ったため、総作業時間が減り、トラクタのCO₂排出量の削減につながった。</p>  <p>ブロードキャスター(肥料散布機)に、2枚のベン(散布用の羽根)を使ったMPWシリーズを新たに開発し商品化した。これにより肥料散布幅は従来機よりも6m広くなり、散布効率が約1.4倍向上、散布作業にかかる時間を低減させた。同時にトラクタからの車速情報を受け取り、車速が変わっても肥料散布量を一定にする「散布量自動制御システム」を同時に開発して製品に搭載した。その結果、短時間に効率よく正確な作業を実現でき、トラクタのCO₂排出量の削減につながった。</p>  <p>ウイングハローWDZシリーズの開発により、従来機では作業幅が3.8mと4.1mだったが、新シリーズでは作業動力の低減に取り組み、3.9mと4.2mとそれぞれ10cm幅広い作業幅を実現し、その結果約2.5%作業効率を向上させた。また今シリーズからニプロビジョンに対応させ、ウイングハローの現在の作業状態を「見える化」することで、的確に調整が行えるようになり効率の良い代掻き作業ができるようになった。その結果、短時間に効率よく正確な作業を実現でき、トラクタのCO₂排出量の削減につながった。</p> 	開発部	
	2. 梱包鉄枠の再利用	製品を運ぶ鉄枠について出来る限り回収を行い、再利用に努めている。		営業部
	【評価】担い手農家への集約により、ますます広がる農地を効率よく作業できるよう広幅作業可能な作業機開発に力を入れ、CO ₂ 排出量削減を目指している。また、車速連動、アプリなどを製品に組み込み、高速、高効率の作業の実現を目指し、研究を行っている。			

二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減(前年維持)	1. 省エネパトロールの実施	年3回実施し、不必要な電気の消灯、使用していない機械の電源オフ、人がいない箇所の暖房器具のオフ、整理整頓等の指導をした。	製造部	
		2. 電灯のLED化(SDGs重点取組項目)	工場照明の水銀灯700W×10灯、300W×2灯をLED化。工場照明消費電力の約6%削減。	総務部	
		3. 再生可能エネルギーの利用	太陽光発電システム(100kw)を導入し、本社・工場にて使用している。		
		4. ライトダウンキャンペーンの実施	CO ₂ 削減/ライトダウンキャンペーンを行った。6月26日、7月10日をノー残業デーとし、6月21日は家庭でライトダウン(夜8時～10時)を行った。		
		5. 照明スイッチのセンサー化	事務所棟・工場内トイレ、記念館分館通路の照明スイッチのセンサー化を行った。		
		【評価】前年比3.5%上昇した。生産量の増加と新塗装工場建設に伴い電気使用量が増加した。SDGsの重点取組項目でもある工場内のLED照明導入が一部進んだので、今後も進め更なる省電力化を目指していく。			
	ガス及び灯油使用量の削減(前年維持)	1. 温度管理に対する意識高揚	オリジナルポスター(4種類ずつ)を作成し、事務所に掲示を行い、社員にクールビズ・ウォームビズを呼びかけた。		事務所空調温度管理部会
		2. 送風機の活用	会議室、営業部、開発部にてエアコンの空気が循環するように送風機を併用した。		
		3. ハイブリットファンの活用	空調機に取り付け、事務所内エアコンによる温度差を緩和させ効率化する。		
		4. ガス使用量の把握	事務所内エアコン用ガスの使用量を調べ、活動の基礎データにした。		
		5. 熱中症指数計の活用	1階に熱中症指数計を導入し、エアコンの運転を開始する基準を明確化した。		
		【評価】ガス使用量は前年を維持。事務所GHPのガス使用量は3.7%増加。1～3月の寒さが厳しかったため使用量が増え、コロナ対策の定期的な換気も原因の一つと思われる。種々の取り組みを積み上げて使用量を抑えたい。			
		1. 温度管理表の運用	工場内暖房使用基準について温度管理表に従い実施した。	工場暖房温度管理部会	
		2. 温度データの把握	工場各職場の温度データを取り、活動の基礎データとした。		
	3. シートシャッターの活用	冬場はインターロック機構を設定し、手前のシャッターが閉じなければ奥のシャッターが開かない様にしている。	製造部		
【評価】灯油14%の減少。12月の地下タンクの給油のタイミングが1月にずれたため、11～1月と比較すると例年よりも多い。冬の寒さが厳しかったため使用量が増えてしまった。気候に左右される面が大きい。暖房機器を入れる基準を順守し適切な運用を心がける。					

ガソリン及び軽油の使用量削減(前年比2%削減)	1. 安全運転の推進	交通安全運動の呼びかけ、運転記録証明により該当者への指導、安全職場への表彰等啓発活動を行った。	総務部	
	2. ハイブリット車両の運用	プリウス他、計10台を導入し運用している。		
	3. WEB会議システムの活用	WEB会議システムを活用し、移動することなく打合せすることができるようにしている。		
	4. WEB会議用機器と回線の増設	WEB会議の利用頻度増加に対応できるよう、パソコン、ディスプレイ、スピーカフォン等の機器とインターネット回線の増設を行った。		
	【評価】ガソリンが1.9%減少、軽油は4.8%増加した。WEB会議の活用でガソリン車の使用が減ったので、今後もうまく活用して燃料使用量削減につなげたい。			
生産効率の向上	1. 新塗装工場建設(建設中)	塗装設備を全面的に更新するため、新塗装工場を建設中。レイアウト変更、塗装ロボットの導入、ストレージ設置等により生産能力が約20%向上。また、2液ウレタン塗料(特化則フリー)への変更でVOC排出量を大幅に削減できる。本稼働は令和5年8月頃を予定。	製造部	
	2. 製造ラインデータの収集と見える化	溶接・組立ラインの機器をネットワーク化し、タッチパネルディスプレイなどを導入。様々な情報の見える化、情報間の因果関係を明確化し、原価低減とリードタイム短縮を定量的に評価できるようにした。		
	3. QRコードリーダーの活用	QRコードリーダーで製品の情報をPLCへ転送することにより、製品のデータ管理や記録が可能となった。台数を増やしてさらに効率化を図っている。		
	4. 生産システムの活用	生産システム(MCframe)を活用して、生産現場の効率化、リードタイムの短縮、生産管理のレベルアップ、原価システムの見直し、原価低減、生産現場の見える化などが可能になった。		
	5. フリーロケーション	在庫の保管場所を固定しないフリーロケーションを導入することでスペースを無駄なく活用できるようになった。		
【評価】新塗装工場建設に伴う生産ラインの見直しと、IT技術のさらなる導入で生産効率を向上させ、工場稼働時間の削減、電力燃料使用量削減と二酸化炭素排出抑制を推進する。				
廃棄物の削減	燃やすしかないゴミの削減(前年維持)	1. 紙分別を行う	業者の基準に従い紙を分別し、再生可能な物は業者の再生工場へ回して貰った。	3R推進部会
		2. ゴミゼロ運動に参加	社員42名で周辺公共道路のごみ拾いを行い、約20kgのごみが集まった。 	
	ペーパーレスの推進	3. eIIシステムの運用	営業系の業務を紙からデータ管理に移行し、部品受注や出荷伝票で使用していたA5帳票やストックフォームが大幅に削減している。	総務部
		4. デュアルモニターの活用	資料を参照しながら作業をする際、デュアルモニターを活用することで資料を紙に印刷する頻度を減らしている。	
		5. グループウェアの試験導入	新しいグループウェア「desknet'sNEO」を試験導入し、ワークフローを活用して紙の申請書や回覧を減らそうと試みている。	
【評価】燃やすしかないゴミが1.8%減少。分別、リユース、リサイクルの徹底はできている。今後はリデュース(減らす)に着目し、グループウェアで社内申請や回覧文書のペーパーレスを進め、廃棄物の削減を図る。				

調整池富栄養化防止		1. 水質検査	定期的に実施している。	製造部	
		2. 菱の実によるpH上昇抑止	菱の実で池を覆うようにし、植物プランクトンの光合成によるpH上昇を抑えている。		
		【評価】富栄養化は工場排水に原因がある場合が多いと言われている。水質検査の数値を分析し、富栄養化防止につなげていきたい。			
総排水量の削減	上水道量の削減(前年維持)	1. 雨水利用	1,000ℓタンクを2ヶ設置し、雨水を利用して植栽の水やりに用いた。	総務部	
		2. 漏水チェック	毎週月曜朝のまだ社内に人がいない時間帯に水道メーターが動いていないのを確認している。		
		【評価】22.7%の減少。前年は漏水がたびたび起きていたが当年は起きなかった。早期に漏水を発見するため、水道メーターのチェックを続けていく。			
グリーン購入の推進		1. エコマーク・再生材商品の購入推進	エコマーク商品・グリーン購入法適合商品を優先して購入している。	総務部	
		【評価】近年、購入対象商品の多くが環境に配慮した物となってきている。			
里山の環境を整え自然との共存を図る(SDGs重点取組項目)	社有林管理	1. 伐採木の活用	伐採した松くい虫被害木を用いて、木工作家に椅子やテーブルを作成、活用している。また状態の悪いものは暖房として薪ストーブの燃料として活用した。	総務部	
		2. 松枯れ防止樹幹注入施工	85本の松に524本の薬剤を注入した。		
		3. 社有林の間伐	社有林東側の間伐を行った。		
		4. 竹林の伐採間伐	日が入りにくなっていた竹林の伐採間伐を行い、日が入りやすくなった。	萌芽(里山保全部会)	
			【評価】生物多様性豊かな里山の保護のため、今後も間伐を行い適度に手を入れていきたい。また、樹幹注入の効果で松枯れを防ぐことができている。		
	国蝶「オオムラサキ」の生育環境保全(乱舞を夢見で)	1. 羽化個体数の調査	7月の1ヶ月間敷地内にてオオムラサキの個体数調査を実施した。	オオムラサキ保	
2. 「エノキ」の実生の調査		社員有志にて社有林内の実生のエノキや残したいクヌギ、コナラに目印のポールを立てた。併せてエノキに絡みついたツル草を刈り取った。(6月と9月に実施)			
3. 観蝶会の実施(中止)		コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。	総務部		
4. 上田創造館主催オオムラサキ観察会の協力(中止)					
5. 社有林・遊歩道の看板を設置		来社されるお客様に社有林、遊歩道、オオムラサキの保護などの活動を紹介する看板を設置している。			
		【評価】個体数調査では1日の平均個体数は21頭とほぼ前年並みだった。感染症拡大防止のためイベントは中止となったが、SDGsの重点取組項目でもあるのでイベントを再開できるようになった時のために環境を整え、準備しておく。			

環境上の緊急事態への準備および対応	1. 複合防災訓練の実施	地震・火災時の避難訓練、消火訓練と環境負荷の災害を想定して防災訓練を10月14日実施した。環境負荷災害訓練は「灯油・オイル・廃油・薬品の漏洩」、「塗料庫からの出火」を想定し、対応方法の検討を行った。 	総務部
	2. 営業所・出張所の災害時電源確保の対応	災害時におけるコンピューター関係の電源確保の為、全ての営業所と出張所に非常用電源を設置している。	
	3. 災害時対応備蓄物資の準備	各営業所にて災害発生直後から3日、本社でも1日対応できるよう物資を備蓄し、発電機、石油ストーブを備えている。本社ではソイジョイを常備し、普段は小夜食とする「ローリングストック」を行っている。	
	4. AEDの設置(更新・追加)	本社・各営業所・物流センターのAEDを7台追加、1台更新し、AEDの講習を行った。	
	5. 消火器の更新	消火器を15本更新をした。	
	6. 自火報受信機の更新	自動火災報知設備の受信機の更新を行った。	
【評価】大地震などの災害に対する体制が構築されてきた。今後、消防機器の老朽化したものから随時更新していく。			
団体への支援	1. 小学生への環境活動の紹介(中止)	コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。	総務部
	2. ハナサカ軍手プロジェクトへの協賛	信州大学繊維学部内任意団体「ハナサカ軍手プロジェクト」へスポンサーとして支援している。	
	3. 地域の小学生向け産業図鑑への協賛	上田市・東御市教育委員会後援で製作され、地域の小学生のキャリア教育に役立っている冊子「わたしたちの街の社会見学」に協賛している。	
【評価】感染症拡大防止のため、学校関係の工場見学、職場体験学習等は中止となっている。感染症が常態化する中で、これからの社会貢献や地域社会とのコミュニケーションの形について考えていく。			
化学物質(PRTR制度対象物質)の適正管理(前年以下)	1. 化学物質の適正管理	化学物質は主に塗装関係に使用しているが、作業者の安全と無駄な使用が無い様に注意している。	製造部
	2. ディーゼルエンジン排気ガス浄化装置の導入	掘取機の調整・走行試験時にディーゼルエンジンから排出される排気ガスに含まれるNox、亜硫酸ガスを、75%除去することができる排気ガス浄化装置を導入している。	
【評価】エチルベンゼン4.9%、キシレン0.5%、トルエン1.9%の増加。生産増に伴い塗料の使用量が増加したことによる。			

(9) 2021年度 環境負荷実績

環境経営に取り組んだ結果、環境負荷実績は以下の通りになりました。

◇ 本社工場

目的項目	実施項目	単位	2019年	2020年	2021年	
			実績	実績	目標	実績
二酸化炭素排出量の削減	電力(購入)使用量	kwh	2,060,943	1,978,771	1,978,771	2,047,575
		前年比	2.3%	-4.0%	維持	3.5%
		金額(円)	47,648,058	44,025,129	—	45,029,677
		前年比	8.6%	-7.6%	—	2.3%
	ガス使用量	t	318	300	300	300
		前年比	5.0%	-5.7%	維持	0.0%
		金額(円)	23,706,466	20,669,865	—	28,682,153
		前年比	-11.5%	-12.8%	—	38.8%
	ガソリン使用量	ℓ	27,873	20,813	20,396	20,410
		前年比	-2.4%	-25.3%	2% 削減	-1.9%
		金額(円)	4,101,122	2,979,695	—	3,173,855
		前年比	-3.0%	-27.3%	—	6.5%
	軽油使用量	ℓ	37,268	37,424	36,675	39,207
		前年比	1.5%	0.4%	2% 削減	4.8%
		金額(円)	3,422,860	3,369,399	—	4,252,371
		前年比	0.3%	-1.6%	—	26.2%
灯油使用量	kℓ	72.7	81.2	81.2	69.8	
	前年比	-15.3%	11.7%	維持	-14.0%	
	金額(円)	5,248,035	5,510,074	—	5,189,398	
	前年比	-11.4%	5.0%	—	-5.8%	
二酸化炭素排出量	(排出係数 0.377 kg-CO ₂ /Kwh: 中部電力ミライズ R2 実績)	kg-CO ₂	2,412,677	2,285,569	—	2,104,994
		前年比	1.5%	-5.3%	—	-7.9%
廃棄物排出量の削減	燃やすすかないゴミの焼却量*	kg	8,480	8,540	8,540	8,390
		前年比	10.3%	0.7%	維持	-1.8%
	鉄粹回収量	t	565.506	567	567	544
		前年比	12.2%	0.3%	維持	-4.1%
総排水量の削減	上水道使用量	t	15,498	18,502	18,502	14,311
		前年比	25.4%	19.4%	維持	-22.7%
		金額(円)	2,884,316	3,466,582	—	2,711,831
		前年比	24.6%	20.2%	—	-21.8%

化学物質（PRTR 制度対象物質）の適 正管理	エチルベンゼン取 扱量	kg	7,987	6,034	6,034	6,330
		前年比	11.7%	-24.5%	維持	4.9%
	キシレン取扱量	kg	11,253	9,003	9,003	9,045
		前年比	8.1%	-20.0%	維持	0.5%
	トルエン取扱量	kg	959	855	855	871
		前年比	-9.6%	-10.8%	維持	1.9%

※燃やすしかないゴミの焼却量は長野営業所、及び物流センターの排出量込

※電力の排出係数は、「2017年(H29年)中部電力二酸化炭素調整後排出係数 0.472kg-CO₂/kWh を使用」

◇ 全組織

目的項目	実施項目	単 位	2019 年 実績	2020 年 実績	2021 年 実績
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量	kwh	2,334,215	2,260,441	2,330,328
		前年比	1.8%	-3.2%	3.1%
		金額(円)	56,914,359	53,059,297	53,963,651
		前年比	6.9%	-6.8%	1.7%
	ガス使用量	t	325	306	306
		前年比	4.5%	-5.8%	0.0%
		金額(円)	24,948,069	21,882,562	28,199,789
		前年比	-12.7%	-12.3%	28.9%
	ガソリン使用量	ℓ	57,295	40,801	37,579
		前年比	4.0%	-28.8%	-7.9%
		金額(円)	8,010,478	5,471,719	5,537,021
		前年比	2.6%	-31.7%	1.2%
	軽油使用量	ℓ	341,953	356,509	324,031
		前年比	-5.1%	4.3%	-9.1%
		金額(円)	28,571,434	26,765,924	27,626,495
		前年比	-6.1%	-6.3%	3.2%
灯油使用量	kℓ	100.957	111.9	96.6	
	前年比	-11.7%	10.8%	-13.7%	
	金額(円)	7,684,090	8,104,331	7,541,370	
	前年比	-7.1%	5.5%	-6.9%	
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	3,546,235	3,455,884	3,748,571
		前年比	-0.2%	-2.5%	8.5%
	鉄枠回収量	t	567	567	544
		前年比	12.3%	0.0%	-4.1%

総排水量の削減	上水道使用量	t	17,476	20,922	16,081
		前年比	20.7%	19.7%	-23.1%
		金額(円)	3,399,701	4,064,123	3,199,963
		前年比	17.6%	19.5%	-21.3%
化学物質(PRTR 制度対象物質)の適正管理	エチルベンゼン取扱量	kg	7,987	6,034	6,330
		前年比	11.7%	11.7%	4.9%
	キシレン取扱量	kg	11,253	9,003	9,045
		前年比	8.1%	8.1%	0.5%
	トルエン取扱量	kg	959	855	871
		前年比	-9.6%	-9.6%	1.9%

(10) 2022年度 環境経営目標

2022年度も引続き「環境保全型農業」を支援する作業機の開発を行います。

電力、上水道、ガス・灯油、ガソリン・軽油使用量の削減を図り限りある資源を大切に使用します。「燃やすしかないゴミ」の焼却量を増やさないようにします。紙を大切に使用します。製品を置いている鉄枠について出来る限り回収を行い再利用に努めます。

国蝶「オオムラサキ」の生息は自然環境と深く結びついています。社有林の手入れを学び、四季折々地域に公開できる里山として育成を図ります。

人の健康や生態系に有害な影響を及ぼすおそれのある化学物質について、適正に管理していることを定期的に確認します。

グリーン購入を進めます。

各削減目標は昨年度の目標と実績を考慮し次の通りとします。

2022年度以降の目標値(前年比) 年間(1~12月)

	2022年度	2023年度	2024年度
電力使用量 (kwh/年)	維持	維持	維持
ガス使用量 (t/年)	維持	維持	維持
ガソリン使用量(l/年)	2%削減	2%削減	2%削減
軽油使用量(l/年)	2%削減	2%削減	2%削減
灯油使用量 (kl/年)	2%削減	2%削減	2%削減
燃やすしかないゴミの焼却量 (kg/年)	維持	維持	維持
鉄枠回収量(t)	維持	維持	維持
上水道使用量 (t/年)	維持	維持	維持
化学物質使用量 エチルベンゼン(kg/年)	維持	維持	維持
キシレン(kg/年)	維持	維持	維持
トルエン(kg/年)	維持	維持	維持
グリーン購入	グリーン購入推進		
環境保全型農業の支援	環境保全型農業を支援する機械の研究、設計		

(1) 2022 年度 環境経営計画

2022 年度は以下の取組内容にて活動を行います。

項 目	取 組 内 容
電力使用量	省エネパトロールの実施、節電対応、太陽光発電の利用、電灯の LED 化
ガス使用量	事務所温度管理、ウォームビズ・クールビズの実施、熱中症指数計の導入
ガソリン・軽油の使用量	安全運転の推進、WEB 会議システムの活用
灯油使用量	工場温度管理、温度管理表の適時改善
燃やすしつかないゴミの焼却量	紙分別の徹底、3R の推進、ペーパーレスの推進
鉄枠回収量	積極的に回収を行う
上水道使用量	雨水利用、漏水のチェック
化学物質の使用量	塗料の加温化、適正管理
グリーン購入	購入推進
環境保全型農業の支援	環境保全型農業を支援する機械の研究、設計

(2) 2021 年度 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2021 年度環境関連法規の順守評価

No	法規制等の名称	要 求 事 項	順守評価
1	大気汚染防止法	VOC 濃度測定	○
2	水質汚濁防止法	排出水の汚染状態の測定	○
3	浄化槽法	法定検査、点検、水質検査	○
4	廃棄物処理法	マニフェスト、契約書、保管基準、報告書の提出	○
5	PRTR 法	排出量等の把握、届出	○
6	省エネルギー法	年間エネルギー量の算定	対象外
7	消防法	危険物保管、地下タンク点検	○
8	高圧ガス保安法	保安検査	○
9	自動車 Nox・PM 法	粒子状物質の排出基準、大阪府流入車規制	○
10	RoHS 指令	有害 10 物質の使用禁止	○
11	毒物及び劇物取締法	業務上取扱者規定	○
12	道路交通法	安全運転、運転日報、積載量	○
13	道路法	荷崩れ防止の為に固定ベルト使用	○
14	道路運送車両法	定期点検整備	○
15	フロン排出抑制法	簡易点検の実施	○
16	労働安全衛生法	決められた管理者の選任	○

関係機関や地域周辺等から過去 3 年間特に指摘はありませんでした。訴訟等も同様です。

(13) 2021 年度 環境活動報告(営業所、出張所、物流センター)

- 北海道営業所
- 旭川出張所
- 帯広出張所

- 東北営業所

- 関東営業所

- 長野営業所、物流センター（同一建物）

- 岡山営業所

- 九州営業所
- 南九州出張所

以上の順で次頁より

2021年度 北海道営業所 環境活動報告

作成日： 2022年3月23日
作成者： 小玉 由紀

2021年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	2021年度目標	目標比(%)	2020年度実績	前年度比(%)
電気(kwh)	3288	3038	2760	3026	2813	1502	2213	1750	1598	1646	4336	2,750	30,720	32,000	96	29,891	103
金額	134,148	125,818	116,197	124,931	119,906	80,452	88,446	87,538	85,084	86,423	77,138	125,897	1,251,958	(前年維持)		1,337,282	94
昨年使用実績	3174	3039	2878	3056	2955	1673	1874	2007	1872	1675	2731	2,917	29,891				
昨年金額実績	137,878	132,701	126,874	131,104	130,063	87,614	93,242	93,233	87,647	81,872	112,491	122,563	1,337,282				
ガソリン	48	52	74	253	201	139	209	166	62	61	100	102	1,467	1,540	95	1,234	119
金額	5,707	6,218	9,119	32,582	26,631	18,650	28,520	23,116	8,657	8,505	14,405	15,172	197,282	(2%削減)		152,235	130
昨年使用実績	120	222	142	99	89	58	110	55	95	76	69	99	1,234				
昨年金額実績	15,569	29,561	18,812	12,768	10,317	6,380	12,460	6,333	11,328	9,046	8,089	11,572	152,235				
軽油	1,743	1,932	2,393	4,257	3,294	2,328	1,415	1,583	2,126	1,871	1,672	1,640	26,254	23,000	114	23,825	110
金額	123,917	139,697	183,768	342,355	277,432	198,386	125,255	142,794	192,614	170,428	157,124	163,938	2,217,708	(2%削減)		1,725,052	129
昨年使用実績	1,444	1,321	1,917	3,231	3,654	2,329	1,907	1,488	2,076	2,088	1,040	1,330	23,825				
昨年金額実績	118,720	112,265	159,660	256,997	248,576	148,308	123,563	100,355	145,276	147,718	72,032	91,582	1,725,052				
水道(m)	9	7	7	21	21	0	24	19	19	19	19	99	109,544	100	99	100	
金額	3,300	3,300	3,300	3,300	3,570	4,382	4,382	3,300	3,300	3,300	3,300	21,152	21,152	(前年維持)		21,152	100
昨年使用実績	9	7	7	21	21	0	24	19	19	19	99	99	109,544				
昨年金額実績	3,300	3,300	3,300	3,300	3,570	4,382	4,382	3,300	3,300	3,300	21,152	21,152	21,152				
LPG(m ³ or kg選択)	0.1	0.2	0	0	0	0.2	0	0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.8	4.0	20	2.9	28
金額	2,506	2,597	2,420	2,420	2,420	2,600	2,420	2,420	2,512	2,516	2,420	2,521	29,772	(前年維持)		31,446	95
昨年使用実績	0.3	0.2	0.3	0.4	0.7	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	2.9				
昨年金額実績	2,682	2,597	2,686	2,770	3,014	2,756	2,504	2,504	2,504	2,420	2,504	2,504	31,446				
灯油(l)	705	740	670	0	0	0	0	0	0	601	0	580	3,296	3,600	92	3,120	106
金額	55,061	59,422	56,749	0	0	0	0	0	0	56,855	0	63,800	291,887	(前年維持)		266,994	109
昨年使用実績	696	578	567	448.7	0	0	0	0	0	160	0	670	3,120				
昨年金額実績	65,076	56,479	51,767	31,588	0	0	0	0	0	0	11,968	50,116	266,994				
二酸化炭素排出量(kg-CO₂)														109,544		108,932	101%

*排出係数：0.601

(北海道電力 R2年)

2021年度	取組んだ内容		及び 評価		次年度以降の目標											
	取組んだ内容	評価	2022年度	2023年度	2024年度	次年度取組内容										
電気	・ ぐまめに電気を消す。	現状維持。	31,000	31,000	31,000	ぐまめに電気を消す。										
ガソリン	・ 急発進・急停車は行わない。燃費の良い速度で走る	現状維持。	1,430	1,400	1,370	急発進・急停車は行わない。燃費の良い速度で走る										
軽油	・ 急発進・急停車は行わない。燃費の良い速度で走る	現状維持。	22,000	21,000	20,500	急発進・急停車は行わない。燃費の良い速度で走る										
水道	・ 洗車時、無駄に使わない。	現状維持。	100	100	100	節水に努める										
LPG	・ 給湯器温度設定を小にする	削減した。	3.0	3.0	3.0	節約に努める										
灯油	・ ストーブの温度を上げすぎない。	現状維持。	3,300	3,300	3,300	ストーブの温度を上げすぎない										

2021年度 旭川出張所 環境活動報告

作成日： 2022年2月21日
作成者： 樋口 寛子

2021年度	使用実績												2021年度目標	目標比(%)	2020年度実績	前年度比(%)	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月					合計
電気(Kwh)	1,524	1,419	1,256	1,472	1,520	1,035	1,296	1,310	1,022	924	1,297	1,161	15,236	16,000	95	16,542	92
金額	63,889	60,507	55,010	62,378	65,820	49,754	59,637	60,786	50,852	47,424	61,241	56,031	693,329	(前年維持)		732,002	95
昨年使用実績	1,446	1,458	1,376	1,541	1,948	1,162	1,411	1,244	1,158	1,110	1,435	1,293	16,542				
昨年金額実績	63,949	64,481	61,568	67,516	82,617	54,988	63,005	56,213	52,255	50,168	60,457	54,785	732,002				
ガソリン(ℓ)	172	167	193	108	173	138	132	165	228	329	210	210	2,222	4,800	46	2,991	74
金額	20,398	20,028	23,828	13,859	22,914	18,477	17,936	22,991	31,883	45,953	30,119	31,333	299,719	(前年維持)		364,321	82
昨年使用実績	393	333	266	136	273	230	276	255	310	162	219	140	2,991				
昨年金額実績	51,148	44,317	35,187	17,449	31,707	25,423	31,306	29,467	36,840	19,309	25,850	16,318	364,321				
軽油(ℓ)	0	92	0	513	631	494	0	179	517	670	484	0	3,579	5,100	70	2,559	140
金額	0	6,569	0	42,134	52,685	41,797	0	16,145	46,811	60,587	45,492	0	312,220	(前年維持)		196,175	159
昨年使用実績	0	0	126	90	126	198	59	375	406	722	288	169	2,559				
昨年金額実績	0	0	15,812	1,007	12,901	12,293	3,823	30,993	28,418	54,567	19,955	16,406	196,175				
水道(m ³)	地下水のため																
金額	なし													#DIV/0!	0	#DIV/0!	
昨年使用実績															0	#DIV/0!	
昨年金額実績															0	#DIV/0!	
LPG(m ³ or kg換算)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	8	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
金額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,510	0	4,510	(前年維持)		0	#DIV/0!
昨年使用実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	#DIV/0!
昨年金額実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	#DIV/0!
灯油(ℓ)	705	768	609	469	260	0	0	0	90	48	518	834	4,301	4,000	108	4,692	92
金額	54,277	67,860	53,618	43,823	24,347	0	0	0	8,712	4,646	57,005	93,608	407,896	(前年維持)		394,565	103
昨年使用実績	873	931	671	638	310	0	0	0	0	176	478	615	4,692				
昨年金額実績	81,709	87,109	59,967	47,164	20,803	0	0	0	0	13,583	36,829	47,401	394,565				
										二酸化炭素排出量(kg-CO₂)			28,852			36,203	80%

*排出係数：0.601 (北海道電力 R2年)

2021年度	取組んだ内容	取組んだ内容	次年度以降の目標				評価
			2022年度	2023年度	2024年度	次年度取組内容	
電気	昼休みに倉庫の電気消灯して不要な電気の消灯	削減できた	16,000	16,000	16,000	不要な電気の消灯	
ガソリン	燃費の良い安全運転に努める	コロナ禍の影響もあり減った	4,800	4,800	4,800	燃費の良い安全運転に努める	
軽油	燃費の良い安全運転に努める	コロナ禍の影響もあり減った	5,100	5,100	5,100	フォークリフト不使用時はエンジンを切る	
水道	水を出しっぱなしにしない	節水した	地下水	地下水	地下水	水を出しっぱなしにしない	
LPG	給湯器の温度設定を下げる	ガスの無駄遣いをしないようにした	0	0	0	給湯器の温度設定を下げる	
灯油	ストーブの温度は上げないようにする。厚着する	使用量削減にはならなかった	4,000	4,000	4,000	ストーブの温度は上げないようにする。厚着する	

2021年度 帯広出張所 環境活動報告

作成日： 2022年3月23日
作成者： 小玉 由紀

2021年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	2021年度目標	目標比(%)	2020年度実績	前年度比(%)
電気(kwh)	919	732	684	489	442	295	425	387	351	306	427	474	5,931	7,900	75	8,043	74
金額	41,893	35,490	33,838	27,422	26,160	21,310	26,050	24,842	23,570	22,149	26,653	28,358	337,735	(前年維持)		392,548	86
昨年使用実績	829	772	752	701	696	445	541	618	604	476	873	736	8,043				
昨年金額実績	34,743	38,324	32,018	35,898	35,745	26,761	29,804	32,029	30,923	26,577	39,769	29,957	392,548				
ガソリン	128	67	192	204	173	99	147	163	148	217	167	131	1,836	2,600	71	1,856	99
金額	15,125	8,112	23,645	26,222	22,915	13,254	20,052	22,812	20,732	30,296	23,962	19,528	246,655	(2%削減)		225,413	109
昨年使用実績	118	114	159	262	210	142	130	121	191	147	131	31	1,856				
昨年金額実績	15,406	15,168	21,086	33,683	24,340	15,708	14,696	14,030	22,727	29,451	15,447	3,671	225,413				
軽油				185			40	50	70			50	395	640	62	113	350
金額				14,723			3,484	4,510	6,377			5,000	34,094	(2%削減)		8,165	418
昨年使用実績	0	0	0	34	41	0	0	0	0	38	0	0	113				
昨年金額実績	0	0	0	2,710	2,788	0	0	0	0	2,667	0	0	8,165				
水道(m)	4	5	5	6	3	3	3	4	3	3	3	5	47	45	104	56	84
金額	2,062	2,062	2,062	4,126	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	26,808	(前年維持)		33,000	81
昨年使用実績	2	2	4	6	5	5	7	6	6	4	4	5	56				
昨年金額実績	2,062	2,062	2,062	4,126	2,062	2,062	4,126	4,126	4,126	2,062	2,062	2,062	33,000				
LPG(m or kg選択)	1.2	1.1	1.1	0.5	0.1	0.3	1	0.8	0.2	0.2	0.3	0.4	7.2	2.7	267	8.9	81
金額	3,718	3,619	3,619	3,042	2,632	2,837	3,553	3,384	2,748	2,748	2,857	2,979	37,736	(前年維持)		39,194	96
昨年使用実績	0	0.5	0.7	0.8	0.8	1	1.8	0.5	0.1	0.7	0.9	1.1	8.9				
昨年金額実績	2,530	3,025	3,246	3,322	3,322	3,520	4,312	3,025	2,629	3,223	3,421	3,619	39,194				
灯油(l)	72	231	298		187						141	133	1,062	1,000	106	1,113	95
金額	5,480	8,358	28,310	0	17,531					0	14,905	13,207	87,791	(前年維持)		99,331	88
昨年使用実績	83	284	142	138							111	355	1,113				
昨年金額実績	16,666	25,287	13,395	9,411							7,722	26,850	99,331				
													11,531			12,711	91%

*排出係数：0.601

(北海道電力 R2年)

次年度以降の目標

	2022年度	2023年度	2024年度	次年度取組内容
電気(kwh)	6,000	6,000	6,000	こまめに電気を消す。
ガソリン(ℓ)	1,800	1,760	1,700	・急発進・急停車は行わない。燃費の良い速度で走る
軽油(ℓ)	390	380	370	・急発進・急停車は行わない。燃費の良い速度で走る
水道(m)	45	45	45	・節水に努める
LPG(m or kg選択)	2.7	2.7	2.7	・節約に努める
灯油(ℓ)	1,000	1,000	1,000	ストーブの温度を上げすぎない

取組んだ内容 及び 評価

	取組んだ内容	評価
電気	・こまめに電気を消す。	削減した。
ガソリン	・急発進・急停車は行わない。燃費の良い速度で走る	現状維持
軽油	・急発進・急停車は行わない。燃費の良い速度で走る	トラック使用量が増えた
水道	・洗車時、無駄に使わない。	削減した。
LPG	・給湯器温度設定を小にする	削減した。
灯油	・ストーブの温度を上げすぎない。	削減した。

2021年度 東北営業所 環境活動報告

作成日： 2022年10月1日
作成者： 高橋 ひとみ

2021年度	使用実績												2020年度実績	前年度比(%)	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
電気(Kwh)	3,435	3,970	3,788	4,093	3,680	3,019	3,071	3,321	2,823	2,878	3,361	3,914	41,353	48,142	83
金額	114,501	106,016	100,706	88,648	84,934	74,529	78,189	86,047	77,758	79,184	87,034	99,075	1,076,621	1,346,384	80
昨年使用実績	4,855	5,725	5,690	5,941	3,934	3,252	3,122	3,091	2,995	2,783	3,322	3,432	48,142		
昨年金額実績	134,421	162,041	161,422	165,864	130,454	107,399	116,114	117,552	114,529	108,799	113,993	10,451	1,346,384		
ガソリン(ℓ)	213	145	219	126	102	135	204	301	122	122	225	297	2,128	3,255	65
金額	25,277	17,453	27,073	16,168	13,578	18,069	28,209	42,018	11,060	17,075	33,516	38,454	287,950	396,726	73
昨年使用実績	485	301	281	197	352	324	201	188	339	201	217	169	3,255		
昨年金額実績	63,151	40,095	37,205	25,369	40,853	35,813	22,810	21,738	40,383	23,953	25,583	19,772	396,726		
軽油(ℓ)	5,021	5,228	7,736	9,371	8,454	5,724	5,703	3,516	3,827	4,170	5,655	3,886	68,291	76,500	89
金額	361,252	383,313	589,225	770,018	714,999	484,743	20,309	27,078	348,930	391,901	558,278	389,421	5,039,467	5,691,087	89
昨年使用実績	5,638	5,025	7,572	9,663	9,927	6,061	6,283	4,780	5,121	6,199	5,652	4,579	76,500		
昨年金額実績	464,868	433,380	640,109	785,629	678,251	394,353	413,004	335,651	370,304	439,253	406,296	329,989	5,691,087		
水道(m ³)	21	18	17	18	21	21	22	18	18	16	22	16	228	244	93
金額	6,568	5,926	5,735	5,926	6,568	6,568	6,828	5,926	5,926	5,544	6,828	5,544	73,887	77,564	95
昨年使用実績	15	20	15	19	25	24	22	20	19	20	25	20	244		
昨年金額実績	5,353	6,308	5,353	6,117	7,608	7,348	6,828	6,308	6,117	6,308	7,608	6,308	77,564		
LPG(ℓ or kg換算)	297	373	326	234	124	87	129	383	193	62	177	382	2,767	2,700	102
金額	81,181	109,784	98,422	71,757	37,475	26,547	40,676	123,113	63,607	23,306	68,053	142,162	886,083	705,750	126
昨年使用実績	249	358	306	282	174	136	106	187	380	53	197	303	2,731		
昨年金額実績	69,385	99,752	81,662	65,745	39,839	39,557	27,105	46,512	92,857	14,887	50,233	78,216	705,750		
灯油(ℓ)	464	640	235	0	0	0	0	0	0	0	330	533	2,202	2,200	100
金額	42,062	59,500	22,748	0	0	0	0	0	0	0	36,663	59,217	220,190	184,640	119
昨年使用実績	445	428	202	93	0	0	0	0	0	0	197	551	1,896		
昨年金額実績	45,524	43,784	20,665	9,002	0	0	0	0	0	0	17,769	47,896	184,640	246,661	87

*排出係数：0.476 (東北電力 R2年)

二酸化炭素排出量(kg-CO₂)

2022年度以降の目標	2022年度	2023年度	2024年度	次年度取組内容
電気(Kwh)	41,000	41,000	41,000	長時間離席時電気機器の電源OFF 5S定着とSDGsへの取組み
ガソリン(ℓ)	3,200	3,200	3,200	安全運転の推進 無駄なアイドリングストップ
軽油(ℓ)	76,500	76,500	76,500	安全運転の推進 無駄なアイドリングストップ
水道(m ³)	230	230	230	洗濯機使用時の節水、水道蛇口の閉め忘れ防止
LPG(m ³ or kg換算)	2,710	2,710	2,710	前年度の取組みを継続
灯油(ℓ)	2,158	2,115	2,070	倉庫離席時暖房機器の電源OFF 暖房の適度な温度設定と衣類での防寒対策

2021年度	取組んだ内容 及び 評価	取組んだ内容	評価
電気	不在場所の消灯 長時間離席時電気機器の電源OFF 5S徹底と定着	全照明をLEDへ切替えてから丸1年経過。所内の節電意識と取組みも定着化しており前年より1.4%削減できた。	
ガソリン	安全運転の推進 自動車点検整備を定期的に実施 アイドリングストップ	前年比35%減。 コロナ禍の出張自費で社有車の燃料消費が大枠に減少した。	
軽油	安全運転の推進 フォークリフトの点検整備を定期的実施 アイドリングストップ	前年比11%減。 コロナ禍の出張自費で社有車の燃料消費が大枠に減少した。	
水道	洗濯時の節水 漏水の確認 節水を呼び掛けるポスターを掲示	展示・実演会等出品を伴うイベントの中止で自社製品の洗浄回数が減り前年比7%減。	
LPG	日照調整、換気風量の適正化 クールビズ、ウォームビズの実施 空調機の点検整備実施	コロナ対策で換気をしながら至適温度を保つことが課題。環境と体調に配慮しつつ全員で取組み継続維持に努める	
灯油	始業前や不在場所では暖房機器OFF 暖房の適度な温度設定と衣類での防寒対策	今冬は降雪量が多く暖房使用率増大。 次年度以降目標値を過去8年間の平均使用量(2,038ℓ)に近づけていきたい	

2021年度 関東営業所 環境活動報告

作成日： 2022年2月21日
作成者： 藤山 紘一

2021年度	使用実績												2020年度実績	前年度比(%)	2021年度目標	目標比(%)	2020年度実績	前年度比(%)
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月						
電気(Kwh)	7,245	8,792	6,394	5,120	4,269	3,546	3,527	5,899	5,010	3,580	4,382	5,881	63,645	55,647	114	56,209	113	
金額	143,183	165,326	133,272	117,359	108,948	98,528	100,587	144,892	131,685	105,845	119,705	149,396	1,518,726	1,518,726	1%削減	1,318,081	115	
昨年使用実績	4,668	5,589	4,943	4,359	4,096	3,568	3,257	4,985	6,452	3,193	4,425	6,674	56,209	56,209				
昨年金額実績	112,875	128,045	117,259	107,430	103,242	93,883	58,641	124,559	146,234	87,540	102,098	136,275	1,318,081	1,318,081				
ガソリン(ℓ)	133	212	349	199	137	226	323	233	110	267	329	245	2,763	3,109	89	3,109	89	
金額	18,665	30,483	51,708	30,896	20,621	35,444	46,803	35,075	17,926	43,686	53,612	41,701	426,620	426,620	前年維持	422,464	101	
昨年使用実績	382	292	439	219	130	212	219	182	166,04	360,21	306,01	202	3,109	3,109				
昨年金額実績	55,330	43,251	63,157	29,854	16,722	28,122	26,939	23,364	21,620	46,805	40,760	26,540	422,464	422,464				
軽油(ℓ)	1,549	2,571	3,333	4,278	3,021	3,052	2,763	1,845	2,285	2,934	2,957	2,477	33,065	34,568	96	34,917	95	
金額	109,496	188,167	258,296	258,296	257,130	265,762	245,672	168,746	212,462	267,732	285,497	251,466	2,768,722	2,768,722	1%削減	2,880,892	96	
昨年使用実績	2,556	3,172	3,234	3,967	2,918	2,658	3,207	2,395	2,526	3,079	2,885	2,701	35,298	35,298				
昨年金額実績	209,162	269,611	272,239	317,516	200,535	167,829	215,125	162,081	178,856	217,247	201,191	186,763	2,598,155	2,598,155				
水道(m ³)	46			85		52		56		42		45	326	255	128	258	126	
金額	13,783		37	18,287		14,476		14,938		13,321		13,667	88,472	88,472	1%削減	80,618	110	
昨年使用実績	48		37		44		40		43		46		258	258				
昨年金額実績	14,014		12,743		13,552		13,090		13,436		13,783		80,618	80,618				
LPG(m ³)	4	4.6	3.5	3.9	3.5	2.2	2.3	1.1	1	1.2	2	2.9	32	28	115	28	113	
金額	3,158	3,466	3,091	3,249	3,048	2,561	2,640	2,198	2,162	2,268	2,666	3,056	33,563	33,563	1%削減	30,463	110	
昨年使用実績	3.6	3.3	2.7	2.9	3.4	2.2	1.9	1.1	1.1	0.8	1.7	3.7	28	28				
昨年金額実績	3,017	2,919	2,677	2,660	2,791	2,456	2,371	2,115	2,115	2,018	2,319	3,005	30,463	30,463				
灯油(ℓ)	190												190	941	20	793	25	
金額	17,670												17,670	17,670		80,557	22	
昨年使用実績	190		183									190	753	753				
昨年金額実績	21,660		19,947									17,290	80,557	80,557				

*排出係数：0.447 (東京電力エナジーパートナー R2年)

次年度以降の目標

2021年度	取組んだ内容	取組んだ内容	評価	2022年度以降の目標					次年度取組内容									
				2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度					
電気	休憩時間・使用してない場所は、こまめに消す	1～3月は、コロナ対応で空調エリアが増えまして、ためため大幅増となっていました。		電気(Kwh)	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持
ガソリン	効率の良い出張、無駄なアイドリングの抑止	所長、業務のバン2台の出張が減り、削減につながった。		ガソリン(ℓ)	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持
軽油	効率の良い出張、無駄なアイドリングの抑止	車両の更新もあるが、出張自体が減っていることが削減の大きな要因。		軽油(ℓ)	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減
水道	出しっぱなしの防止	4月、漏水もないのに異常な使用量になってしまった。閉め忘れが原因と思われる。各自の意識向上を徹底する。		水道(m ³)	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減
LPG	給湯の使用を抑える	展示、実演機をきれいにする仕事でお湯を使用していたのが増加の要因。		LPG(m ³)	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減
灯油	暖房用灯油の節約	作業者の入れ替わりもあり、大幅に削減できた。		灯油(ℓ)	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持

2021年度 長野営業所・物流センター 環境活動報告

作成日： 2022年3月1日
作成者： 岩淵 彩子

2021年度	使用実績												2020年度実績	前年度比(%)			
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			合計	2021年度目標	目標比(%)
電気(Kwh)	4,137	3,906	3,486	3,467	3,410	2,393	2,304	2,507	2,093	2,278	2,536	2,962	35,479	35,000	101	36,304	98
金額	102,328	97,215	88,833	90,329	92,408	67,517	65,437	70,262	60,926	66,945	74,997	87,827	965,024			1,003,905	96
昨年使用実績	3,683	3,538	3,105	3,428	4,005	2,565	2,418	2,503	2,188	2,374	3,133	3,364	36,304				
昨年金額実績	102,609	98,361	87,211	95,528	110,424	73,256	69,329	71,210	62,397	65,734	82,171	85,675	1,003,905				
ガソリン(ℓ)	292	327	138	229	180	131	295	136	46	102	160	138	2,173	5,200	42	2,852	76
金額	34,669	39,275	16,991	29,976	23,854	17,553	40,213	19,027	6,476	14,236	22,959	20,630	285,859			354,014	81
昨年使用実績	422	304	511	111	66	71	267	83	157	310	334	216	2,852				
昨年金額実績	54,971	40,791	67,632	14,177	7,693	7,804	31,075	9,563	18,665	36,912	39,493	25,238	354,014				
軽油(ℓ)	1,814	3,789	6,765	7,222	5,899	3,964	4,283	1,766	2,454	4,572	4,324	3,006	49,859	62,000	80	67,170	74
金額	121,695	277,553	493,884	577,933	492,777	327,883	357,587	161,114	187,812	420,743	396,929	296,063	4,111,973			4,769,189	86
昨年使用実績	4,797	5,243	6,426	8,753	8,595	5,486	5,349	3,871	4,401	5,485	4,897	3,867	67,170				
昨年金額実績	375,557	432,258	504,412	685,125	570,381	337,224	346,370	258,517	288,319	375,092	347,204	248,730	4,769,189				
水道(m ³)		142		112		119		105		82		96	656	850	77	1,326	49
金額		26,723		21,410		25,560		20,206		16,340		20,116	130,355			247,130	53
昨年使用実績		192		175		328		225		112		294	1,326				
昨年金額実績		34,936		34,936		60,335		41,395		21,374		54,154	247,130				
LPG(ℓ or kg)	624	638	468	236	64	124	358	104	88	100	286	448	3,538	2,100	168	3,510	101
金額	64,696	72,783	56,557	29,504	7,563	13,770	41,313	50,706	11,410	13,043	42,267	70,188	473,800			356,701	133
昨年使用実績	422	352	278	302	52	182	216	458	308	54	364	522	3,510				
昨年金額実績	44,314	41,838	31,286	31,154	4,241	16,987	20,409	43,656	29,435	5,155	35,071	53,155	356,701				
灯油(ℓ)	3,298	3,125	2,234	785							1,715	3,758	14,915	16,000	93	18,120	82
金額	239,798	237,871	187,300	69,071							160,306	341,832	1,236,178			1,470,690	84
昨年使用実績	4,129	3,587	2,652	1,424						520	1,986	3,822	18,120				
昨年金額実績	323,534	290,516	223,378	119,958						46,904	159,468	306,932	1,470,690			254,998	77

*排出係数：0.406 (中部電力ミライズ R2年)

次年度以降の目標

2021年度	取組んだ内容	取組んだ内容	評価			
			2022年度	2023年度	2024年度	次年度取組内容
電気	エアコン等の適切な温度設定 不在場所等、不要な電気の消灯	目標値には達しなかったが、前年実績よりもだいぶ抑えることができた。1～3月が増加傾向にあるので、この期間をポイントに節電に努めたい。	35,000	35,000	35,000	エアコン等の適切な温度設定 使用していない場所の消灯
ガソリン	定期的な車の点検整備 冷暖房のつけすぎに注意する	大幅に減少しているが、コロナの影響で営業マンの出張回数が減ったことなどが要因かと思われる。	5,200	5,200	5,200	エコドライブの徹底 アイドリングストップ 車内を適切な温度にする
軽油	定期的な車の点検整備 冷暖房のつけすぎに注意する	大幅に減少しているが、コロナの影響で営業マンの出張回数が減ったことなどが要因かと思われる。	62,000	62,000	62,000	エコドライブの徹底 アイドリングストップ 車内を適切な温度にする
水道	漏水チェック 節水の呼びかけ	昨年は漏水によって増加してしまいましたが、修繕したおかげで大きく減少して良かった。	650	650	650	漏水チェック・節水の呼びかけ
LPG	ウォームビズ・クールビズの実施 室内温度の管理	ほぼ昨年同様の実績となったが、1～3月使用量が多いので、目標値に近づこう努めたい。	3,500	3,500	3,500	ウォームビズ・クールビズの実施 室内温度の管理
灯油	暖房器具の適切な温度設定	目標を達成することができた。暖房器具に頼るだけでなく、各自防寒対策をしていきたい。	15,000	15,000	15,000	暖房器具の適切な温度設定

2021年度 岡山営業所 環境活動報告

作成日： 2022年3月28日
作成者： 福井 恵美子

2021年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	2021年度目標	目標比(%)	2020年度実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	1,349	1,243	1,146	934	898	838	1,060	1,030	954	873	953	1,468	12,746	10,871	117	11,444	111
金額	49,986	47,311	45,933	42,849	43,916	41,832	47,437	45,200	44,803	43,376	44,786	57,684	555,113	2%削減	522,033	106	
昨年使用実績	1,148	1,134	1,070	980	792	746	899	942	903	727	943	1,144	11,444				
昨年金額実績	47,477	47,437	46,250	44,150	41,284	39,860	43,372	42,877	41,631	38,582	42,617	46,496	522,033				
ガソリン(ℓ)	335	128	237	92	103	28	161	134	56	116	422	236	2,048	2,687	76	2,742	75
金額	39,714	15,445	29,243	11,834	13,614	3,749	21,890	18,662	7,844	16,197	60,479	35,300	273,971	2%削減	333,329	82	
昨年使用実績	278	230	146	203	53	86	151	238	424	319	347	267	2,742				
昨年金額実績	36,219	30,682	19,367	26,064	6,123	9,494	17,144	27,580	50,486	37,997	40,964	31,209	333,329				
軽油(ℓ)	2,457	3,415	4,077	3,520	3,001	3,400	3,283	1,889	2,058	3,191	3,713	2,646	36,650	42,758	86	42,973	85
金額	171,486	243,797	303,289	280,200	252,157	287,956	285,888	170,399	186,414	289,949	349,045	265,014	3,085,594	0.5%削減	3,141,972	98	
昨年使用実績	3,164	4,203	4,019	5,147	4,405	3,384	3,185	2,703	2,383	3,846	3,626	2,908	42,973				
昨年金額実績	258,257	353,040	334,722	410,219	300,228	210,097	206,380	181,346	166,769	269,998	251,296	199,620	3,141,972				
水道(m ³)	17	12	12	13	13	22	22		15		16		95	100	95	122	78
金額	3,162	2,750	2,750	2,832	2,832	3,784	3,784		2,997		3,080		18,605	現状維持	17,940	104	
昨年使用実績	21		17	22	22				24		17		122				
昨年金額実績	3,597		3,162	3,784	3,784				2,398		1,402		17,940				
LPG(m ³ or kg換算)	0.5	0.4	0.5	0.7	0.8	0.6	0.3	0.4	0.3	0.6	0.7	0.7	6.5	4.5	144	4	176
金額	2,266	2,197	2,282	2,425	2,497	2,354	2,139	2,211	2,149	2,373	2,487	2,487	27,867	現状維持	25,609	109	
昨年使用実績	0.1	0.5	0.4	0.3	0.4	0.2	0.3	0.3	0.1	0.3	0.4	0.4	4				
昨年金額実績	1,985	2,266	2,197	2,129	2,197	2,061	2,129	2,129	1,993	2,129	2,197	2,197	25,609				
灯油(ℓ)													396	350	113	390	102
金額													21,800	現状維持	40,420	105	
昨年使用実績													390				
昨年金額実績													38,650				
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)												18,050	71,386			130,795	55

*排出係数：0.531 (中国電力 R2年)

次年度以降の目標

	2022年度	2023年度	2024年度	次年度取組内容
電気(Kwh)	12,700	12,400	12,200	室内の温度調整をこまめに行う。声を掛け合って節電の意識を高める。コロナ対策の換気等があるので、しばらくは現状維持。
ガソリン(ℓ)	2,680	2,630	2,580	アイドリングストップや効率の良い運転を心がける。コロナでイベント等が中止になり、社有車の使用がかなり少なくなったため、ガソリンの使用量もかなり減っている。通常ではないため21年目標の現状維持。
軽油(ℓ)	42,750	40,600	38,590	アイドリングストップや効率の良い運転を心がける。コロナでイベント等が中止になり、トラックの使用がかなり少なくなったため、軽油の使用量もかなり減っている。通常ではないため21年目標の現状維持。
水道(m ³)	100	100	100	コロナで実演会等中止になり、製品の洗浄が少なくなったため使用量が減っているが通常でないため、21年の現状維持。実演機等、洗浄の効率を上げる。
LPG(m ³ or kg換算)	6.5	6.5	6.5	コロナ対策の手洗い等で使用量が増えている。今後も減くので現状維持。無駄遣いはしない。
灯油(ℓ)	390	390	390	室内の温度調整をこまめに行う。コロナ対策の換気等があるので、しばらくは現状維持。

2021年度 取組んだ内容 及び 評価

	取組んだ内容	評価
電気	使っていないところの電気をこまめに消し、室内の温度もこまめに調節するようにした。	室内の電気をこまめに切るようにしているが、コロナ対策で換気をするため、室内の温度調整が難しく、冷暖房費が増えていると思われる。
ガソリン		
軽油		
水道	節水を心がける。	イベント等の中止により洗浄が少なくなり使用量が少し減ったと思われる。製品出荷時の水拭き、手洗いなど寒さが厳しいためお湯の使用量が増えた。無駄遣いはしていないので引き続き気を付ける。
LPG	使用頻度が少ないため、これからも無駄のないようにする。	寒さが厳しいのでコロナ対策で換気するためストーブの使用量が増えた。無駄遣いはしない。
灯油	こまめに温度調節する。	

2021年度 南九州出張所 環境活動報告

作成日： 2022年3月29日
作成者： 小島 章太郎

2021年度	使用実績												2021年度目標	目標比(%)	2020年度実績	前年度比(%)
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
電気(Kwh)	1,791	1,559	1,177	1,043	1,002	1,162	1,726	1,787	2,433	1,502	1,314	1,686	18,182	17,733	103	
金額	65,378	60,913	54,904	51,661	51,445	53,892	65,346	66,352	81,349	60,396	58,227	65,419	735,282	722,691	102	
昨年使用実績	1,850	1,564	1,304	1,104	973	1,398	1,761	2,236	1,637	1,032	1,110	1,764	17,733			
昨年金額実績	68,536	61,081	56,905	53,885	50,781	58,908	66,801	74,753	63,556	51,504	53,840	62,141	722,691			
ガソリン(ℓ)	75	31	40	17	15	53	82	140	21	16	66	20	576	504	114	
金額	9,190	3,729	4,916	2,228	2,050	7,096	11,117	19,835	2,942	2,238	9,470	2,990	77,801	63,675	122	
昨年使用実績	117	48	49	73	42	0	21	24	24	28	83	20	504			
昨年金額実績	15,630	6,585	6,482	9,337	4,879	0	2,431	2,856	3,337	3,337	9,800	2,338	63,675			
軽油(ℓ)	1,992	1,902	3,022	2,379	1,969	2,316	2,030	1,882	2,410	1,790	1,978	1,709	25,379	37,927	67	
金額	139,923	135,799	224,856	189,338	165,149	196,158	176,805	169,720	218,295	162,017	188,121	170,892	2,137,073	3,085,295	69	
昨年使用実績	1,578	2,060	2,443	2,262	2,349	2,442	2,582	2,096	2,359	2,487	1,970	1,996	26,623			
昨年金額実績	128,286	174,889	204,911	180,270	159,719	154,858	169,658	142,659	165,107	177,899	136,548	136,121	1,930,925			
水道(m³)	19	8,553	7,579	14	18	18	16	18	18	18	18	15	92	102	90	
金額	17	8,162	7,772	14	16	16	18	18	18	18	18	19	102	49,167	97	
昨年使用実績	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1	1	50	
昨年金額実績	2,000	2,061	2,061	2,000	2,061	2,000	2,061	2,061	2,000	2,000	2,000	2,000	24,305	23,534	103	
LPG(m³ or kg換算)	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	1	1	185	
昨年使用実績	2,321	2,261	2,263	2,263	2,061	2,055	2,000	2,000	2,000	2,055	2,000	255	23,534			
昨年金額実績	18	1,728	1,728	1,728	1,728	1,728	1,728	1,728	1,728	1,728	1,728	1,728	6,340	5,390	118	
合計														84,842	90,257	94
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)													84,842			

*排出係数：0.365 (九州電力 R2年)

2021年度	取組んだ内容	取組んだ内容	次年度以降の目標				評価
			2022年度	2023年度	2024年度	次年度取組内容	
電気	効率の良い電気使用	必要のない場所での電源OFF 営業マンの不在時の照明、暖気OFF	17,500	16,000	16,000	16,000	効率の良い電気利用 無駄な電気使用減
ガソリン	社有車のエコ運転	行動計画による無駄な行動を避ける	500	480	460	460	行動計画による、無駄な出張減 エコ運転の実施
軽油	社有車、リフトのエコ運転	行動計画による無駄な行動を避ける 定期点検の実施	26,000	25,700	25,500	25,500	行動計画による、無駄な出張減 エコ運転の実施
水道	効率の良い水道利用	洗濯時の無駄水をなくす	100	95	90	90	洗濯時の無駄水をなくす
LPG	使用減	ガス利用の減	1	1	1	1	ガスの利用減
灯油	冬場の時間帯使用	朝、夕利用 温度管理による使用	55	50	50	50	時間帯による使用 温度管理による使用

⑭ 代表者による全体の評価と見直し・指示

エコアクション 21 認証取得から 16 年が経過しました。2021 年は新型コロナウイルスの混乱から社会生活や経済活動も with コロナを受け入れながら一歩ずつ元に戻ろうと進んできた一年でした。当社は食に関わる産業として事業の継続を要請され、供給責任を果たすうえで社業と感染対策の両立は必須の中で進めてまいりました。昨年は手探りで進めてきたオンラインによる展示会や採用での Web 活用も日常化し、2020 年に減少したガソリンの使用量も 2021 年にはさらに減少するなど、現地への出張でなく可能なものはオンラインで打合せするという業務改善がなされた結果、ガソリン使用量と CO₂ の削減につながっていると評価しております。また、申請書類等をワークフロー化することでペーパーレスと承認事項の迅速化を進めていく試験運用を始めたところ、「紙・ゴミ」の削減を推し進めるうえで効果が目に見えて出ており更なる業務改善を期待します。

本年 1 月に第 7 期「長野県 SDG s 推進企業」として県より登録を受け、社員が自分事として SDG s を理解してもらうよう社内広報も積極的に進めてまいりました。また、当社の特徴である会社周辺の社有林での「オオムラサキ観察会」はコロナ禍で 2 年間地域の皆様をお招きして開催することが出来ておりませんが、地域の里山として間伐や下草刈りなど里山保全部会のメンバーや社員ボランティアにより整備を進めている活動は継続していただきたいと思っております。

社員一人ひとりが当事者意識を持って取り組むことで、「環境保全型農業」を支援する企業として環境負荷の低減や省資源を実現する商品の開発、また継続的な環境保全活動を通して持続可能な社会実現に向け取り組んでまいります。